

事業番号	05 06 01	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	認知症対策総合推進事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-1-3 健康づくり・医療充実プロジェクト			課・室	保健・疾病対策課	
	施策の総合的展開	6-1	健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実		E-mail	hoken-shippe@pref.nagano.lg.jp	
		6-2	いきいきと安心して暮らせる社会づくり 4 社会的援護の充実		実施期間	H19 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	認知症高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らすため、医療・介護・福祉の充実と連携による総合的な支援を行います。		
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者(累計) 517人 研修年1回開催</li> <li>・認知症相談医ステップアップ研修修了者(累計) 52人 研修年1回開催</li> <li>・認知症コールセンター相談件数 236件/年(平成23年度)</li> <li>・県下3か所に認知症疾患医療センターを設置(飯田病院、安曇総合病院、佐久総合病院)</li> </ul>		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県内の認知症施策の全体的な水準の向上を図ることを目的とするため。国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である。	
	県民との協働による実施：困難	平成24年4月5日付老発0405第14号「認知症対策等総合支援事業の実施について」等。認知症疾患医療センターの指定は都道府県知事が行う。	

事業内容	① 成果目標(H25)				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者累計 530人</li> <li>・認知症サポート医養成累計 58人</li> <li>・認知症疾患医療センターの設置箇所 3箇所</li> </ul>				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		
			(当初)	(決算)	
			H26(当初)		
認知症地域支援施策推進事業	直接	医療・福祉・介護者・行政の代表13人を構成員とする推進会議一年2回開催、早期診断から専門医療との連携について検討する一検討部会開催一年2回開催	693	554	699
認知症地域医療支援事業	直接委託	かかりつけ医認知症対応力向上研修 年1回開催 認知症相談医ステップアップ研修 年1回開催 認知症サポート医養成(国立長寿医療研究センターに委託) 8名/年養成	874	798	1,184
認知症コールセンターの設置	委託	コールセンターの設置1箇所 (長野県宅老所・グループホーム連絡会に委託) [開設日時] 週6日(月)~(土)、1日7時間 10~17時	4,355	4,355	4,111
認知症疾患医療センター運営事業	補助金	認知症疾患医療センターを3か所設置 (飯田病院、安曇総合病院、佐久総合病院) ・認知症疾患専門相談窓口設置、鑑別診断の実施 ・専門担当者を配置し、地域包括支援センターとの連携を強化	18,951	14,514	11,844
認知症予防県民運動推進事業	直接	認知症予防県民大会の開催 啓発パンフレット作成・配布	447	353	447
合計			25,320	20,574	18,285

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		当初予算	50,478	60,512	25,320	18,285			目標	成果	達成状況	
		補正予算			212		かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者累計	515	530	533	達成	550
		合計(A)	50,478	60,512	25,532	18,285	認知症サポート医養成累計	52	58	62	達成	65
	Aの財源	国庫支出金	39,103	58,921	13,228	9,364	認知症疾患医療センターの設置箇所数	3	3	3	達成	3
		県債					認知症コールセンター相談件数	243	300	204	未達成	—
		その他( )										
	一般財源	11,375	1,591	12,304	8,921							
	決算額(B)	23,713	43,503	20,574								
概算人件費	職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70							
	概算人件費(C)	5,781	5,781	5,781	5,781							
概算事業費(B(A)+C)	29,494	49,284	26,355	24,066								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かかりつけ医認知症対応力向上研修は、県内でも受講者数の少ない地域で開催するなど全体のバランスを考慮して開催した。</li> <li>○認知症サポート医の養成は、県医師会の協力を得て受講者を募っているが、県の養成枠以外にも自主的に受講する医師も増え、目標を上回り達成した。</li> <li>○認知症疾患医療センター事業費の国庫補助額は年々減少しており、厳しい状況にあるが、3箇所の設置を維持することができた。</li> <li>○コールセンターの相談件数の大幅な減少は、例年市町村を通して配布していたコールセンターの電話番号を掲載した認知症パンフレット配布の廃止が影響したと考えられる。12月にポスター等による広報を行い、その後は前年並みの相談件数となった。</li> </ul>
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	医療・介護・福祉の連携による総合的な支援を行い、認知症高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を実現するため、平成26年度においては、一般病院における認知症対応力の水準を高めるため、病院勤務医療従事者向けの研修を新たに実施する。